

## 「スカニアジャパン大阪中央ディーラー」を新設



120年以上の歴史を誇り世界100カ国以上に拠点を置く欧州大手の大型トラック・バス・コーチ・産業用エンジンメーカーのスカニアジャパン株式会社（本社：スウェーデン）は2014年5月30日、大阪市住之江区に西日本の拠点となる「スカニアジャパン大阪中央ディーラー」を開設した。

今後はこのスカニアジャパン大阪中央ディーラーが販売拠点を兼ねた直轄の整備工場としてスカニア製トラック、バス、産業用エンジンのアフターサービスを提供するとともにパーツの調達、メンテナンスプログラムのカスタマイズ、燃費削減のためのドライバートレーニングなど、顧客の戦略的ビジョンの実現に必要なすべてのサポートを行う。スカニア車両に限らず、他メーカートラックの整備についても積極的に受け入れていく。

大阪中央ディーラー開所式当日は、代表取締役 ヨハン・ルンデン氏、取締役セールス部長 マッツ・リンドストレーム氏、取締役サービス・パーツ部長 ハンス・ヴィシング氏、大阪ディーラー セールスマネージャー 北田健二氏らによるテープカット後、新建屋の内覧会、レセプションが行われた。

スカニアは、かつて日本メーカーと販売網の提携をし4×2トラクタのみを国内ではラインナップしていたが、2010年より東京都港区芝の現所在地にスカニアジャパン株式会社を設立し、2011年以降、本格的に日本市場での長期的なビジネス展開を視野に入れた活動を行ってきた。スカニア製品の特徴であるモジュラーシステムを活用したフルオーダーメイドまたはセミオーダーメイドの車両を日本市場でも導入し、まったく新しい国内展開を開始した。モジュラーシステムは、エンジン、ギアボックス、アクスルレイアウト、フレームなどを好みの仕様で選択できるスカニア独自の仕組みだ。日本では千葉県市川市に中央部品倉庫、千葉県富里市に納車前検査および整備を行うスカニアジャパン東京富里工場、そして主に東京 - 大阪間に協力整備工場・ディーラーを既に置いている。今後は東京そして大阪中央ディーラーを中心として、日本各地で同様の高品質なサービスを提供できるよう、サービス拠点と販売代理店を増設しお客様の利益に貢献できるようビジネスを展開していく予定だ。

2014年5月30日